

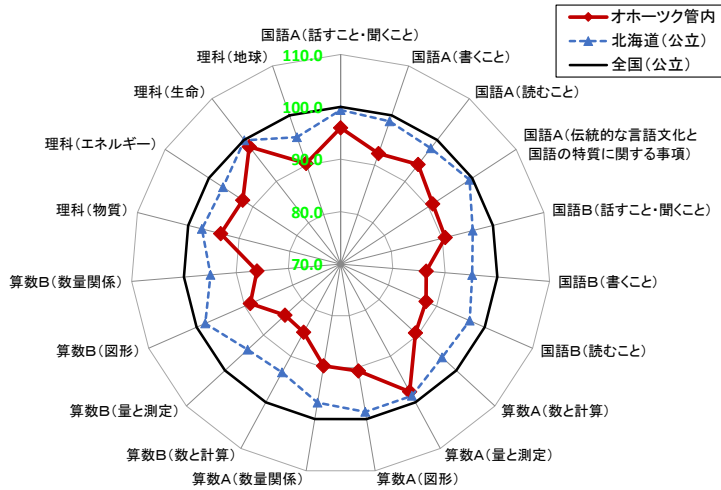
## ■小学校の状況(学校数:82校、児童数:2025人)

### 【平均正答率】

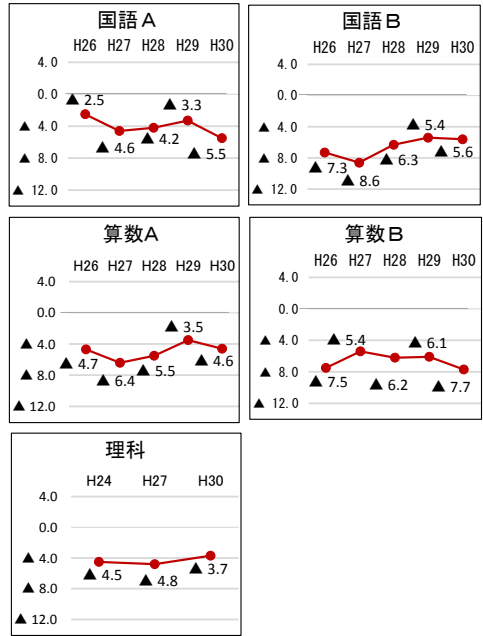
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
オホーツク	65[65.2]	49[49.1]	59[58.9]	44[43.8]	57[56.6]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

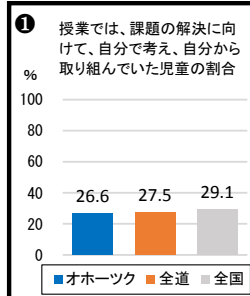


※「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

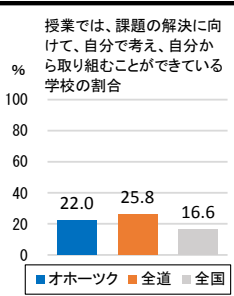
### 【質問紙の状況】

#### 指導方法

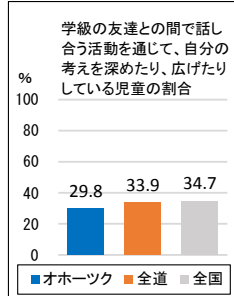
##### \* 児童質問紙



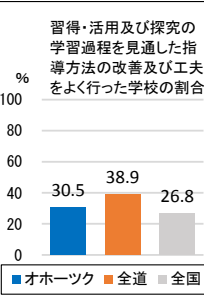
##### \* 学校質問紙



##### \* 児童質問紙

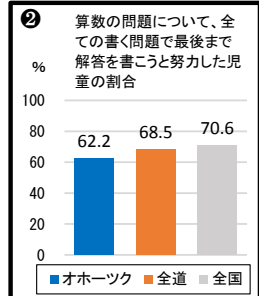


##### \* 学校質問紙



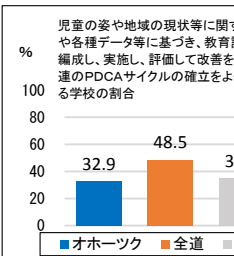
#### 学習意欲

##### \* 児童質問紙

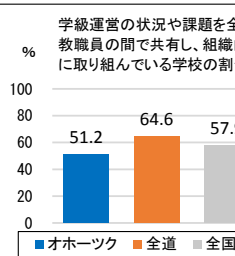


#### カリキュラム・マネジメント

##### \* 学校質問紙

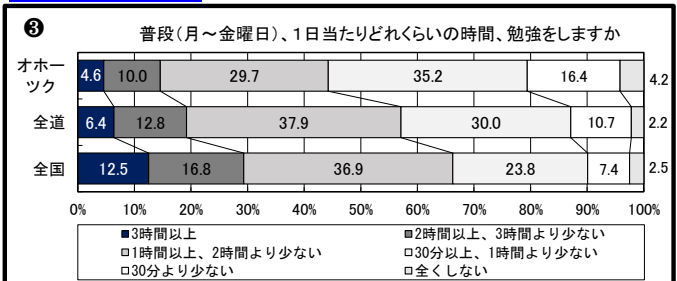


##### \* 学校質問紙



#### 学習習慣

##### \* 児童質問紙



### 【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国と比較し、理科の「生命」で最も近くなっている。</li> <li>○ 全国と比較し、国語A・B、算数A・B、理科の全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「書くこと」、算数Bの「量と測定」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。</li> </ul>
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は26.6%であり、全国を下回っているが、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は22.0%であり、全国を上回っている。また、児童と学校の回答に4.6ポイントの差があることから、単元を通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。</p> <p>② 算数の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合は62.2%で、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実する必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は44.3%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</p>

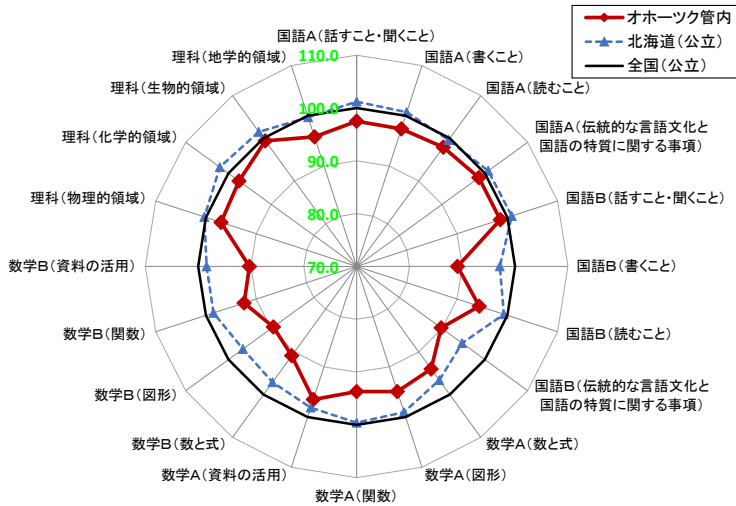
## ■中学校の状況(学校数:49校、生徒数:2146人)

### 【平均正答率】

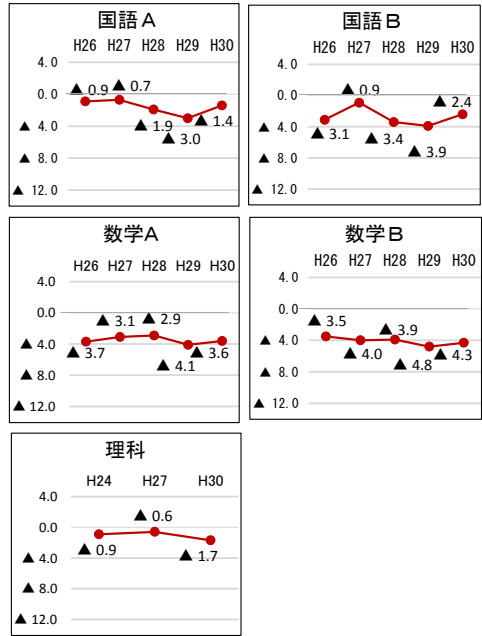
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
オホーツク	75[74.7]	59[58.8]	63[62.5]	43[42.6]	64[64.4]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

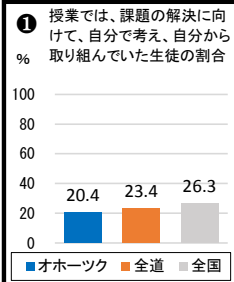


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

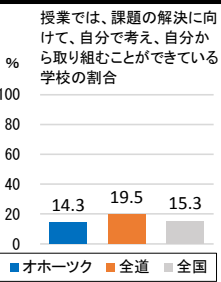
### 【質問紙の状況】

#### 指導方法

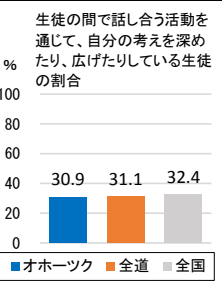
\* 生徒質問紙



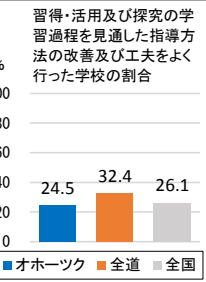
\* 学校質問紙



\* 生徒質問紙

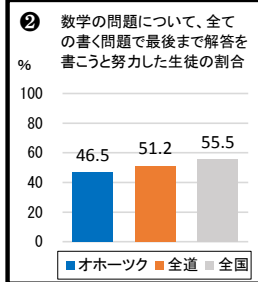


\* 学校質問紙



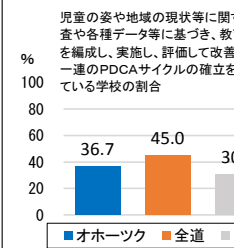
#### 学習意欲

\* 生徒質問紙

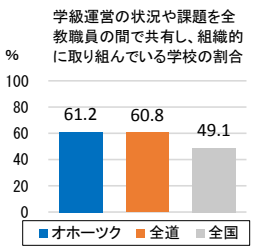


#### カリキュラム・マネジメント

\* 学校質問紙

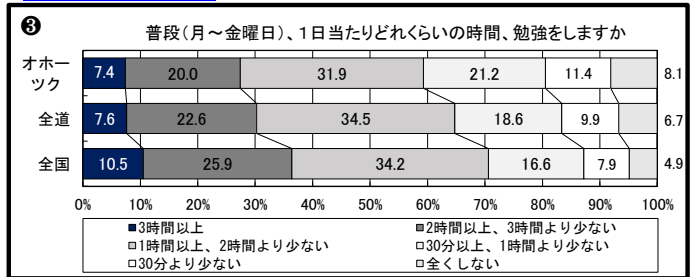


\* 学校質問紙



#### 学習習慣

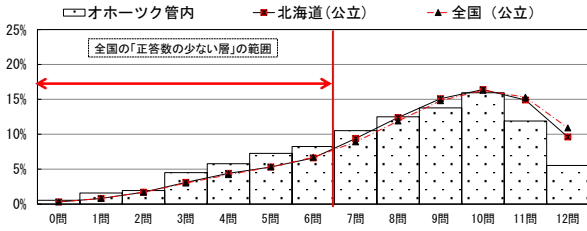
\* 生徒質問紙



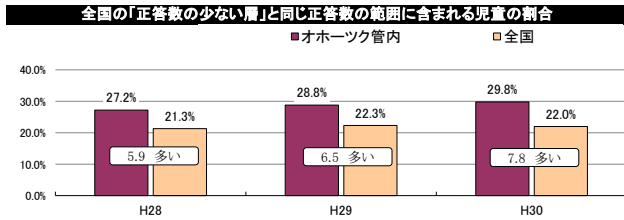
### 【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国と比較し、理科の「生物学的領域」で最も近くなっている。</li> <li>○ 全国と比較し、国語A・B、数学A・B、理科の全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「書くこと」、数学Bの「図形」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。</li> </ul>
質問紙	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は20.4%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は14.3%であり、いずれも全国を下回っている。また、生徒と学校の回答に6.1ポイントの差があることから、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。</li> <li>② 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は46.5%であり、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につながる主体的な学びを一層充実する必要がある。</li> <li>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は59.3%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</li> </ol>

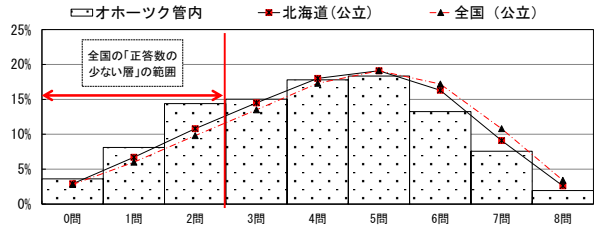
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,025	7.8 / 12	65.2	8.0	2.8
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



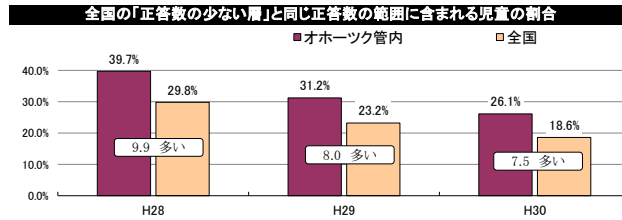
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



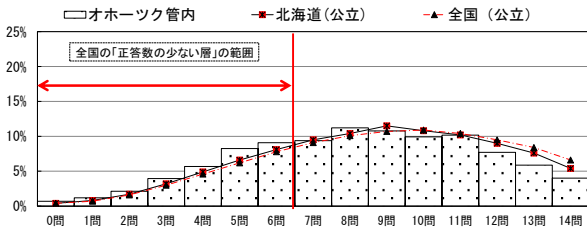
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,023	3.9 / 8	49.1	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



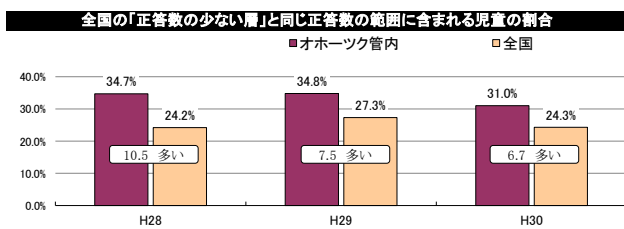
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



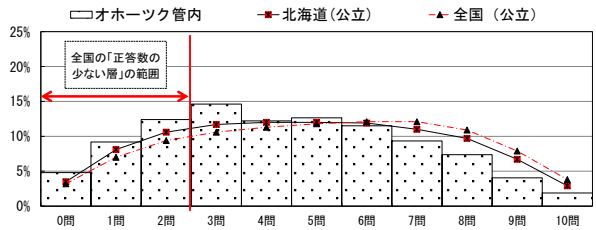
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,025	8.2 / 14	58.9	8.0	3.2
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



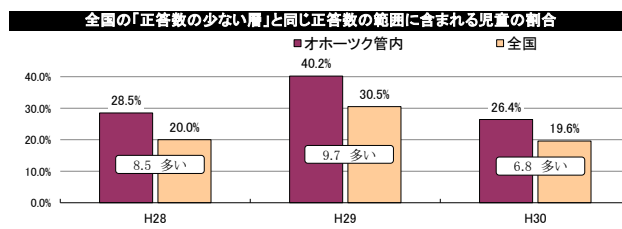
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



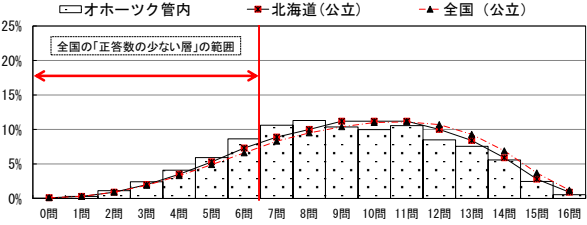
小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,024	4.4 / 10	43.8	4.0	2.5
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



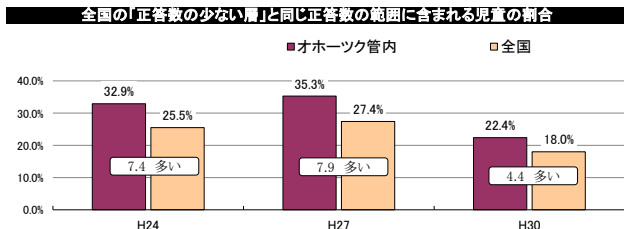
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



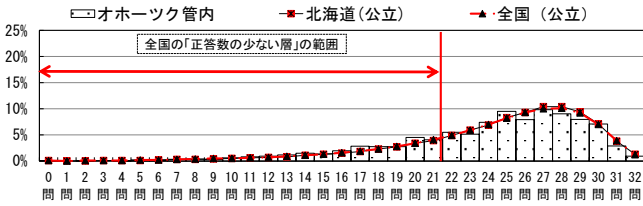
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,026	9.1 / 16	56.6	9.0	3.2
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



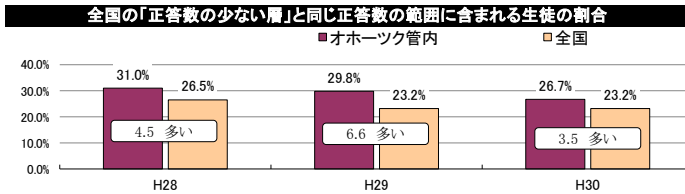
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



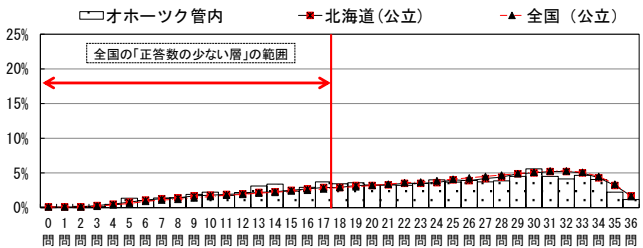
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,146	23.9 / 32	74.7	25.0	5.3
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



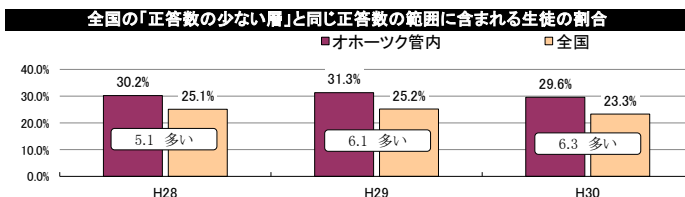
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



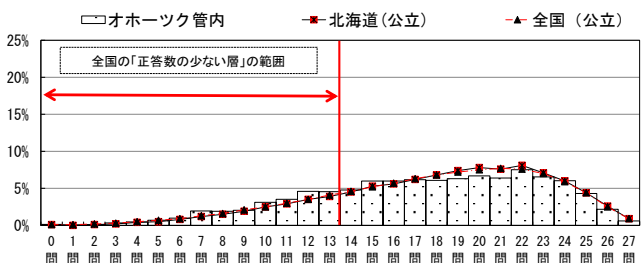
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,149	22.5 / 36	62.5	24.0	8.3
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



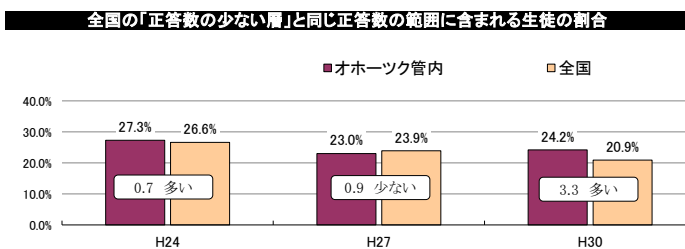
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



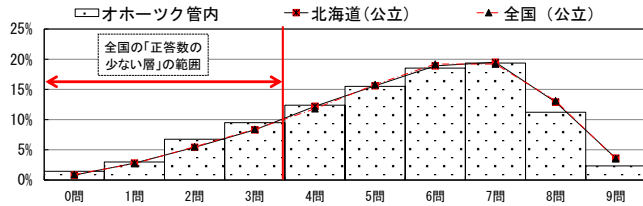
中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,155	17.4 / 27	64.4	18.0	5.4
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



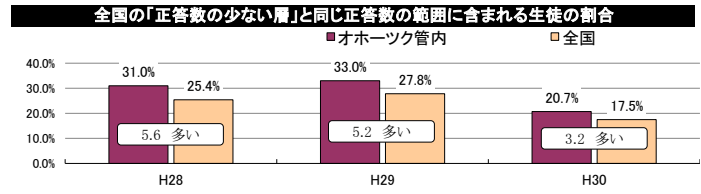
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



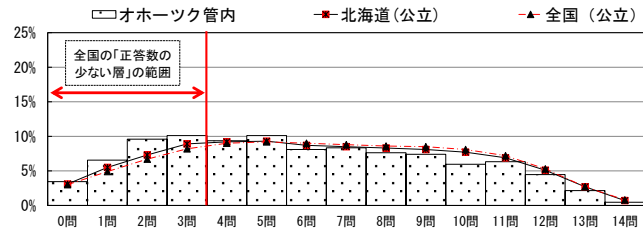
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,148	5.3 / 9	58.8	6.0	2.1
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



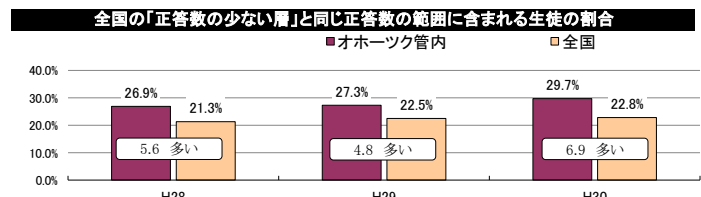
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
オホーツク管内	2,148	6.0 / 14	42.6	6.0	3.5
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

オホーツク管内	全国
39.1%	29.4%
全国との差 9.7多い	
H30中3 : 3.5多い	

小学校国語B

オホーツク管内	全国
38.6%	26.5%
全国との差 12.1多い	
H30中3 : 3.2多い	

小学校算数A

オホーツク管内	全国
31.9%	21.7%
全国との差 10.2多い	
H30中3 : 6.3多い	

小学校算数B

オホーツク管内	全国
32.7%	25.2%
全国との差 7.5多い	
H30中3 : 6.9多い	

小学校理科

オホーツク管内	全国
35.3%	27.4%
全国との差 7.9多い	
H30中3 : 3.3多い	